

タンクレスで面倒な水捨て必要なし！日本初^{※1}の衣類乾燥除湿機 ランドリールームの壁に設置する「いつでもカラット」を発売

株式会社コロナ(本社:新潟県三条市、社長:大桃 満)は、ランドリールーム*での使用に最適な日本初^{※1}の壁掛け形衣類乾燥除湿機「いつでもカラット」を5月から発売します。希望小売価格は、107,800円(税込、工事費別)です。

※1 衣類乾燥機能を強化した家庭向け壁掛け形デシカント式除湿機において。2026年5月発売予定

*ランドリールーム…洗う・干す・畳む等の洗濯に関する一連の作業を一か所で完結できる部屋

近年、新築住宅へのランドリールームの採用が増加する一方、衣類乾燥に関して、「乾くのにかかる」「乾きムラが多い」「(除湿機の)タンクの水捨てが面倒」などの不満の声が聞かれました。(当社調査:添付『ランドリールームに関する実態調査について』参照)

「いつでもカラット」はこれらの不満に着目し、衣類乾燥機能を強化した壁掛け形のデシカント式衣類乾燥除湿機です。



「いつでもカラット」は、壁に設置することで、洗濯機や収納棚などで狭くなりがちなランドリールームでも動線を確保できます。さらに、窓上にも設置できるコンパクトなサイズで多様な間取りに対応します。室内の空気中の水分を屋外へ排出するため、面倒なタンクの水捨てが不要で、不快な室温や湿度の上昇を抑えます^{※2}。

除湿方式に冬でもパワフルな「デシカント方式」を採用することで、季節を問わず安定した衣類乾燥が可能です。最大約12m³/minの大風量かつ幅約260cm^{※3}の広範囲の送風により、大量の洗濯物も両端までしっかり風を当てて乾きムラを抑え、多方向からたっぷりと風を当てて繊維を立ち上げることで、タオルをふんわり乾かします^{※4}。

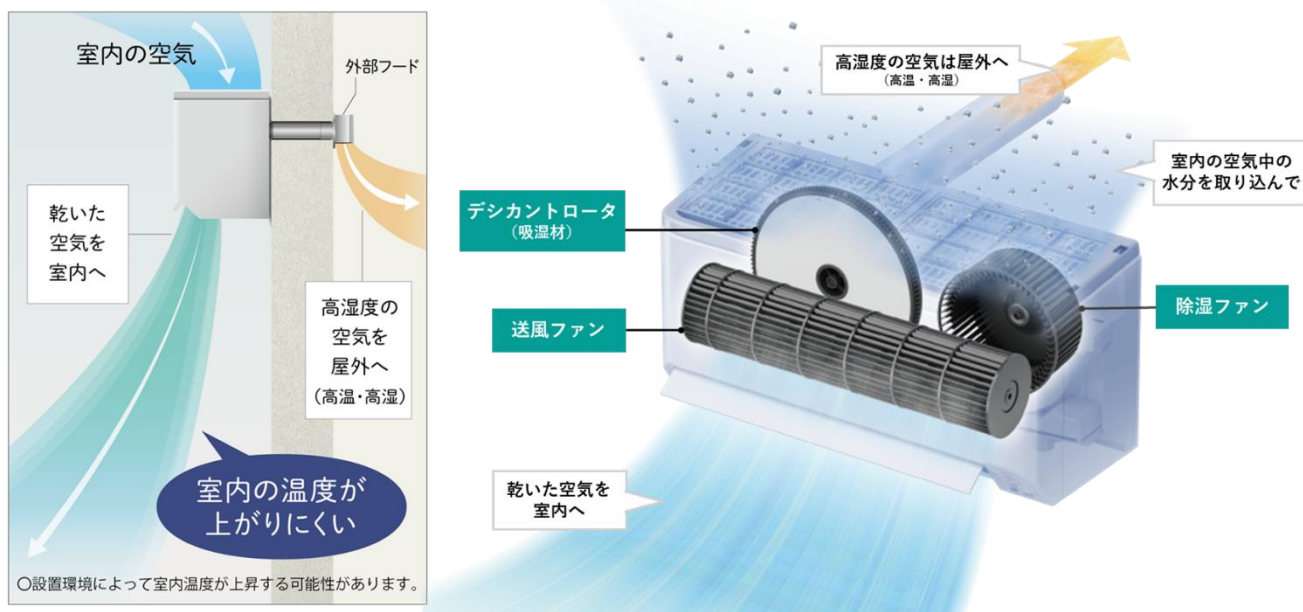
当社は、暮らしに安心やゆとりを提供し、「快適で心はずむ毎日」の実現を目指すとともに、エネルギーの効率的な利用などを通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【本件に関するお問合せ先】 株式会社コロナ <https://www.corona.co.jp/>
〒955-8510 新潟県三条市東新保7番7号 TEL:0256(32)2111 E-mail:info@hode01.corona.co.jp
●報道機関からのお問合せ先 株式会社コロナ 総企画部 広報室
●お客様からのお問合せ先 株式会社コロナ 営業本部

新製品の特長

1. タンクレスで、水捨て不要

室内の空気中の水分を屋外へ排出するタンクレス設計。タンクの水がいっぱいになって運転が止まる心配がなく、外出時や就寝中でも連続運転を行います。タンクの水を捨てなくて済むので、日々の家事の負担を減らします。



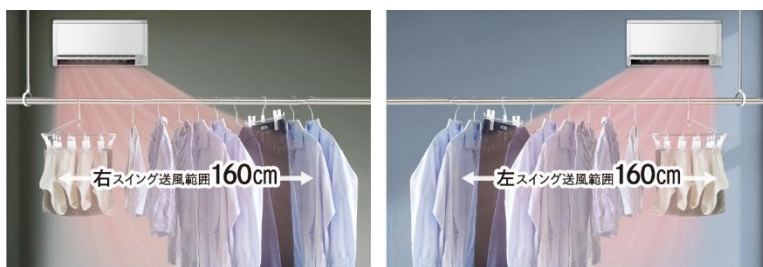
2. 大風量・広範囲の送風でしっかり衣類乾燥

最大約12m³/minの大風量と、幅約260cm^{※3}の広範囲の送風により、洗濯物の両端までしっかり風を当てて乾きムラを抑えます。多方向からたっぷりと風を当てて繊維を立ち上げるので、タオル乾燥の“ふんわり”度が約25%アップ^{※4}します。



左右ルーバーの広い可動域と角度設定により、壁の右寄り・左寄りなどの設置位置にかかわらず、洗濯物全体に風を届けます。また、右スイング・左スイングによる送風でも、送風幅160cm^{※5}のワイド送風を可能にしました。

これにより、設置条件に左右されにくく、多様な間取りに柔軟に対応します。



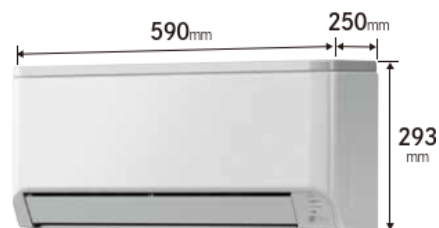
3. 1台4役の快適機能

衣類乾燥モードと除湿モードに加えて、涼風モード※6や換気モード※7も搭載し、結露対策や夏の暑さ対策、空気の入れ替えにも対応します。

4. 床ひろびろで、家事の動線もスムーズ

窓の上にすっきり収まるコンパクト設計で、窓上のスペースを有効活用。窓上393mm※8以上あれば設置ができます。洗濯機や収納棚などで狭くなりがちなランドリールームでも床を広く使えて、家事の動線を確保します。

離隔距離は天井まで50mm以上、左右壁まで55mm以上※9、床から1,800mm以上のスペースがあれば設置可能です。



↑ 動画もご覧ください

<https://youtu.be/jPNR0zlrqRU>

【仕様表】

商品名	壁掛け衣類乾燥除湿機
型式	KD-Z90A
価格	107,800円(税込、工事費別)
除湿方式	デシカント式
電源	交流100V
電源周波数	50/60Hz
最大排湿量	9.0L/日
消費電力	720W
質量	8.9kg
外形寸法	高さ293mm×幅590mm×奥行き250mm(排湿アダプタを除く)
想定畳数	4畳以下
衣類乾燥時間	2.3時間
騒音値	49dB
仕向地	3地域以南対応 ※14
付属品	リモコン、リモコンホルダー、乾電池(単4形2本)、リモコンホルダー取付ねじ(2本)、取扱説明書(保証書)、据付説明書、排湿アダプタ、排湿アダプタ取付ねじ(4本)、据付板、据付板取付ねじ(6本)、電源コードパッキン

○開発中のため変更になる場合があります。

- ※1 衣類乾燥機能を強化した家庭向け壁掛け形デシカント式除湿機において。2026年5月発売予定
- ※2 設置環境によって室内温度が上昇する可能性があります。
- ※3 左右ルーバーワイドスイング時、運転モード「衣類乾燥：速乾(風量5)」、吹出口より前方約100cmにおける送風範囲。(風速0.45m/sの届く範囲)
- ※4 当社調べ／●室温20℃湿度60%●ルーバー設定：上下スイング、左右スイング●運転モード「衣類乾燥：速乾(風量5)」●自然乾燥したときのタオルの厚みを100とした場合、KD-Z90Aを使用した場合、タオルの厚みは125となった。
- ※5 右・左ルーバースイング時、運転モード「衣類乾燥：速乾(風量5)」、吹出口より前方約100cmにおける送風範囲。(風速0.45m/sの届く範囲)
- ※6 冷房機能ではありません。
- ※7 強制排気。換気扇ではありません。
- ※8 窓上設置の場合。本体高さ293mm、本体上から天井まで50mm以上、本体下から窓枠まで50mm以上あれば設置可能。
- ※9 配電盤から直接電源線を取り付ける場合は150mm以上離してください。
- ※10室温27℃湿度60%を維持する室内で運転した時の1日あたりの値。運転モード「除湿：パワフル」
- ※11運転モード「衣類乾燥：速乾(風量5)」
- ※12室温20℃湿度60%のランドリールームで2kgの洗濯物を干した場合の値。運転モード「衣類乾燥：標準(風量5)」(広さ：4畳、天井高：2.4m、物干し竿：1本、換気：あり) 実使用時の衣類乾燥時間は使用環境・使用条件により異なります。
- ※13本体の正面及び左右それぞれ1mの距離で測定した値の平均値。運転モード「衣類乾燥：標準(風量5)」
- ※14省エネルギー基準における地域区分による。但し、最低外気温が－10℃を下回る地域には据え付けないでください。

(添付資料)

ランドリールーム※に関する実態調査について

住まいにおけるランドリールームの所有状況や室内干しにまつわる不満等に関して WEB アンケートを行いました。

※ランドリールームとは、洗濯物を干すだけのサンルームとは異なり、洗濯に関する家事(洗う・干す・畳むなど)をまとめて行える部屋の中で、洗濯機・室内物干しざお・収納棚などが設置されている部屋のことです。ドライルーム・家事室・ユーティリティと言われるケースもあります。

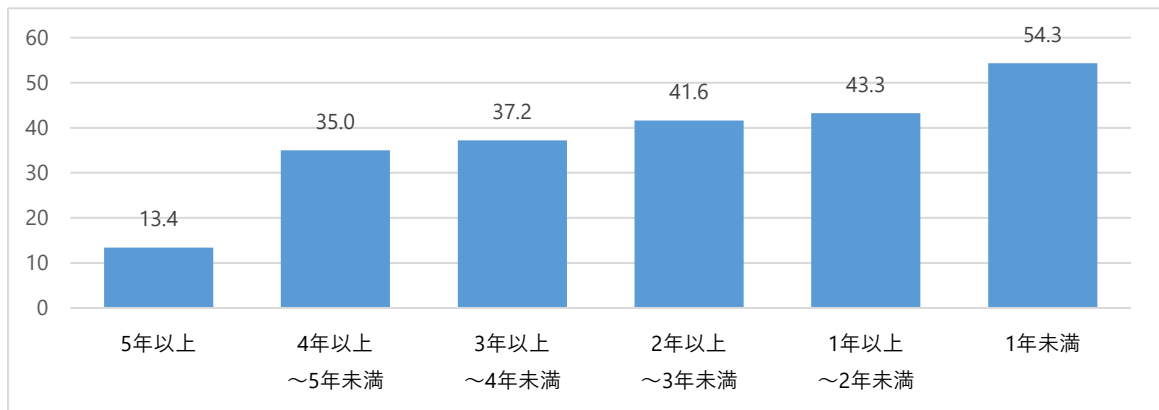
【調査概要】

- ・調査時期:2025年 11 月28日～11月30日
- ・調査対象:20歳代～60歳代の男女
- ・調査方法:インターネット調査

1. 築年数が浅い住宅ほどランドリールームの所有率が高い。

Q. あなたが現在住んでいる住居にランドリールームはありますか(単一回答、n=2,534)。

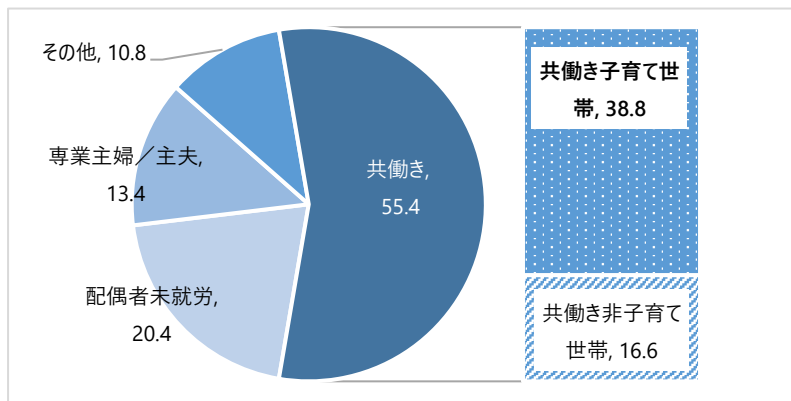
Q. あなたが現在住んでいる住居は築何年ですか(単一回答、n=2,534)。



2. ランドリールーム所有者は共働きの子育て世帯※が多い。※18歳以下の子がいる世帯を“子育て世帯”とした。

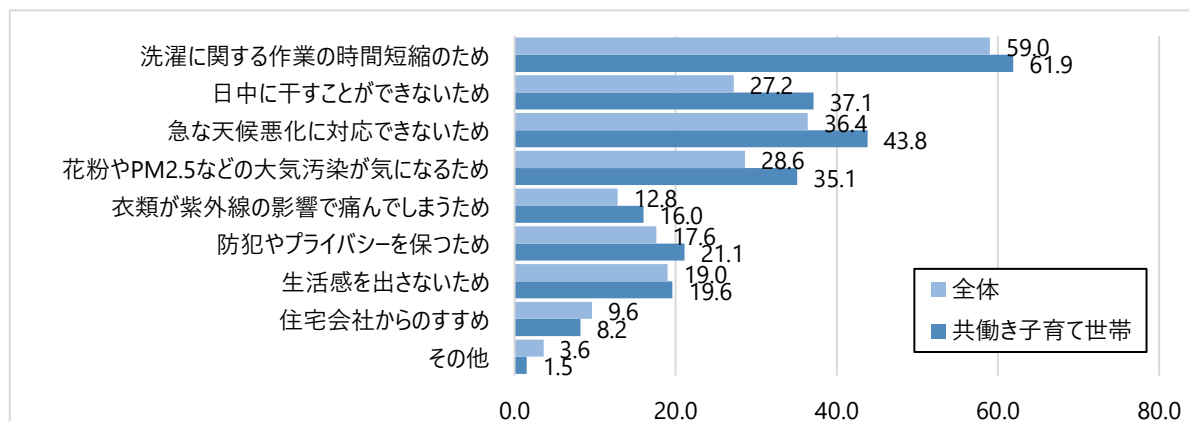
Q. 同居されているご家族の中にあなたのお子さまはいらっしゃいますか。いらっしゃる場合、最年少のお子さまの年齢をお答えください(単一回答、自由回答、n=500)。

Q. あなたの現在の働き方に最も近いものをお選びください(単一回答、n=500)。



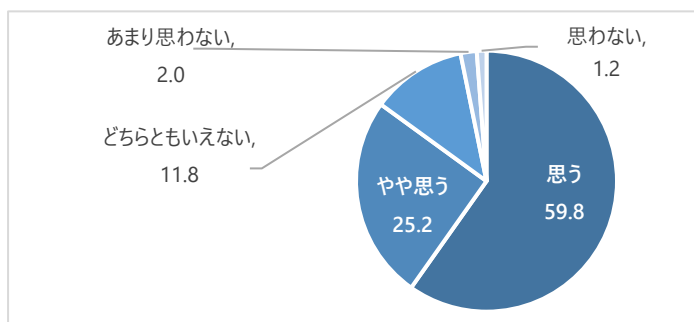
3. 共働き子育て世帯のランドリールーム採用理由は、「日中に干すことができないため」や「急な天候悪化に対応できないため」といった自宅を不在にすることによる理由が全体よりも多い。

Q. ランドリールームを設けた理由を教えてください(複数回答、n=500)。



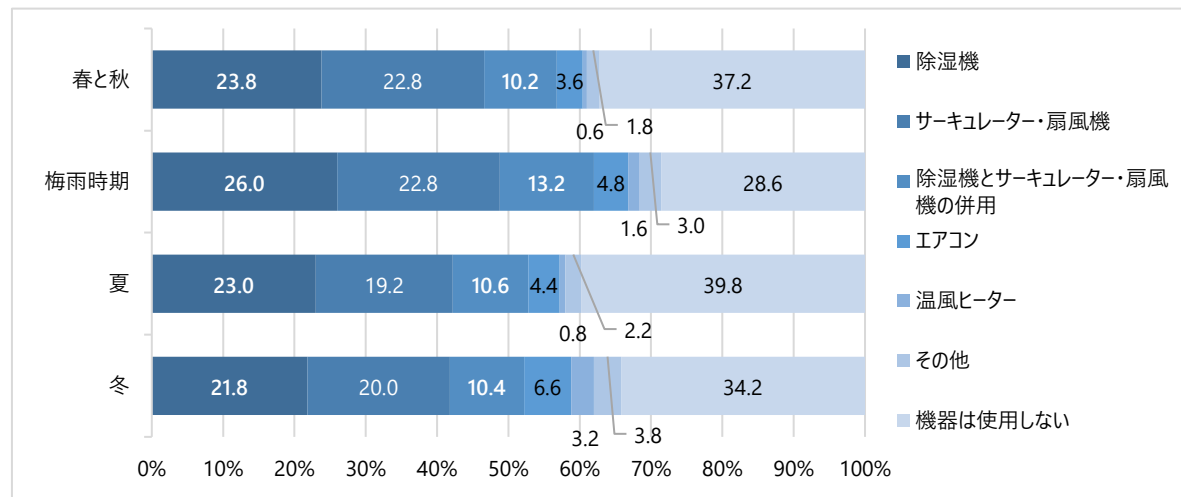
4. ランドリールーム所有者の中で設置してよかったと思う、または、“やや思う”と回答した人の割合は、85.0%であり、ほとんどの所有者が満足している。

Q. あなたが現在住んでいる住居にランドリールームを設けて良かったと思いますか(単一回答、n=500)。



5. ランドリールームで衣類乾燥のためにもっとも使用する機器は、「除湿機」がいずれの季節でも最も多く、次いで「サーキュレーター・扇風機」が多い。「除湿機」と「除湿機とサーキュレーター・扇風機の併用」を合算すると、いずれの季節でも3割以上の人々が除湿機を使用している。

Q. ランドリールームに洗濯物を干す際に、季節によって使用している機器はありますか。そのなかでもっとも当てはまるものはどれですか(単一回答、n=500)。



6. ランドリールーム所有者の 6 割以上の人が何らかの不満を抱えており、“乾き方”、“室内環境”、“使用する機器”で様々な不満を持っている。

“乾き方”では、「乾くのに時間がかかる(26.4%)」や「生乾きのにおいがする時がある(21.6%)」という不満が多く、“室内環境”では、「ランドリールーム内の湿気が気になる(19.6%)」という不満が多かった。

“使用する機器”では、「タンクの水捨てが面倒(13.2%)」や「タンクがすぐ満水になり途中で止まる(5.4%)」といった床に置くタイプの除湿機に特有の不満があり、「機器のランニングコストが高い(10.6%)」や「機器の運転音大きい(7.4%)」などの様々な機器に関する不満があった。

Q. ランドリールームに洗濯物を干す際の不満点や、乾かす際に使用している機器の不満点はありますか(複数回答、n=500)。

